



地域住民の要望を受け、字名が変更した安比高原

第4回 臨時会

松尾第1地割と細野の一部 字名を「安比高原」に変更

市議会第4回臨時会が7月27日に開催されました。この臨時会では、松尾地区と安代地区にまたがる安比高原スキー場周辺の字名を「安比高原」に変更する議案など、合わせて5議案が提案され、すべて原案どおり可決されました。

全会一致で可決したもの

▼人権擁護委員候補者の推選に関し意見を求めることについて

9月30日をもって人権擁護委員の任期が満了する田川春雄氏（清水）を、再び同委員に推せんしようとするものです。



田川春雄氏

▼字の区域及び名称の変更について

安比高原に係る「松尾第1地割の一部」と「細野の一部」666筆、およそ82分の字名を「安比高原」に変更しようとするものです。これにより、この区域の住所は、10月1日から

〒028-7306、八幡

平市安比高原」に変更。平成19年4月からは、行政区名も「安比高原」となる予定で、児童は松野小学校に通うことになります。

問 今後、大更などの密集地を「大更何丁目」などと分かりやすいように変更する考えはないか。

答 今後検討する時期が来るかもしれないが、現状では考えていない。

▼平成18年度八幡平市一般会計補正予算（第3号）

歳出歳入を、それぞれ1075万4000円追加するものです。補正の主なものは、市税過誤納金還付金561万5000円、電算システム変更業務委託料112万5000円、八幡平地熱発電事業計画検討委員会委員報酬26万6000円などです。

問 八幡平地熱発電事業計画検討委員会について、N

となるので、新たに2人を市議会から推せんしようとするものです。

推せんについては、議長において指名推せんすることとが確認された後、田村恵美子さん（野駄）、北口ハマ子さん（土沢）の両名を推せんすることとしました。

ださい)。

賛成多数で可決したもの

西根中学校屋内運動場建設工事の請負契約の締結に
関し議決を求めることにつ

西根中学校屋内運動場建設工事の請負契約を、株式会社奥村組東北支店・株式会社吉田組特定建設工事共同企業体と締結しようとする

問 共同企業体での入札を行う金額的な基準は。

答 2億円以上の場合に検

答 国策としてクリーンエネルギーギーの開発を進めてきているので、本市は地熱開発などの地下資源を有しているということでは非常に有望視されている。いずれ検討委員会で十分に議論していきたい。

問 事業化が可能だという調査結果が出た場合、発電事業に市がかかわってくるのか。

答 採算性が取れば、第3セクター方式を取るといふ前提での調査となる。

問 2次利用としての熱水利用を検討するべきではないか。

答 2 次的な熱水利用も視野に入れるが、地熱発電を主眼にしながら進めたい。

▼八幡平市農業委員会委員の推せんについて

議会推せんの農業委員が
8月31日をもって任期満了



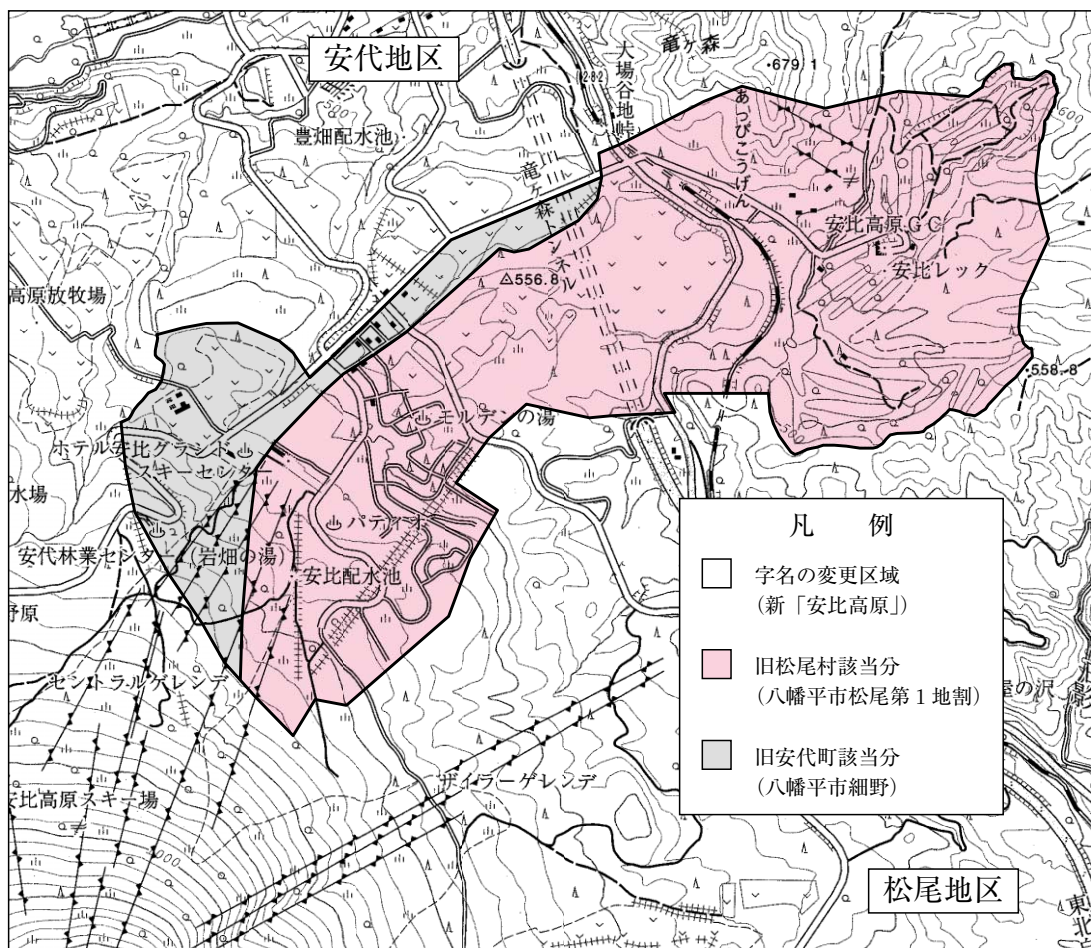
北口ハマ子さん



田村恵美子さん

なお、選挙による委員については、在任特例の期間満了に伴う市農業委員会委員選挙が8月20日に告示されましたが、旧町村単位に設けられた選挙区の委員定数（西根選挙区16人、松尾選挙区7人、安代選挙区7人）と立候補者数が同じだったため、立候補者全員が無投票で当選しました（当選者の氏名は、広報はちまいたい9月7日号をご覧ください）

図. 字名の変更区域



討することになっている。

問 市外業者の指名基準は。

答 地元発注の考えから、県内に事業所がある企業を優先している。市内の建築にはA級からC級までランクがあるが、市内のA級3社だけでの発注は、入札事務上難しいと考えている。

問 設計額、予定価格、請負率はいくらか。

答 設計額に対する請負率は94・77%である。現在、設計額と予定価格は公表していないが、今後の検討課題とさせていただきたい。

問 こういう厳しい状況の中にあつて、入札指名に関しては、できるだけ市内にお金が回るよう、さらに工夫を検討していただきたい。

答 共同企業体の割合が5対5に最も近くなっているほか、部分発注や分離発注のほとんどが市外の業者に落札する実態にあつたので一括発注とし、発注の際もできるだけ地元業者を使うようお願いしているので、仕事そのものは今まで以上に市内業者に発注になると考えている。今後については、鋭意検討しなければならぬと思うている。